



第121期 報告書

2024年4月1日～2025年3月31日



レイズネクスト株式会社

証券コード：6379



株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

ここに第121期(2024年4月1日から2025年3月31日まで)の事業の概況をご報告申し上げます。

何卒、ご高覧いただきたくお願い申し上げます。

代表取締役社長
社長執行役員 **毛利 照彦**

当期の経営成績の概況

当連結会計年度のわが国経済は、雇用・所得環境が改善する下で、各種政策の効果もあり、景気は緩やかに回復しております。他方、アメリカの通商政策等の影響による国内景気の下振れリスクが高まっているほか、物価上昇の継続が個人消費に及ぼす影響なども、国内景気を下押しするリスクとなっております。

当社を取り巻く事業環境につきましては、国内の石油製品需要は、電気自動車の普及や低炭素燃料への転換等によるエネルギー構造の変化の影響を受け、引き続き減少していく見込みであります。一方で、政府の「GX実現に向けた基本方針」が閣議決定され、産業界では、カーボ

ンニュートラル社会実現に向けた取り組みが加速することが期待されます。

当社グループにおきましては、前期比で、メンテナンス分野では主に定期修理工事により、エンジニアリング分野では主に中小規模工事により、受注高、完成工事高ともに増加しました。その結果、完成工事総利益も増加しました。

当社グループの連結の業績としましては、受注高1,617億47百万円(前期比6.6%増)、完成工事高1,573億71百万円(前期比12.1%増)、営業利益108億58百万円(前期比8.9%増)、経常利益110億94百万円(前期比8.1%増)、親会社株主に帰属する当期純利益81億円(前期比11.7%増)となりました。



当社単体の業績につきましては、受注高1,523億92百万円(前期比5.7%増)、完成工事高1,487億69百万円(前期比12.2%増)、営業利益99億48百万円(前期比9.0%増)、経常利益107億50百万円(前期比11.8%増)、当期純利益80億99百万円(前期比20.6%増)となりました。

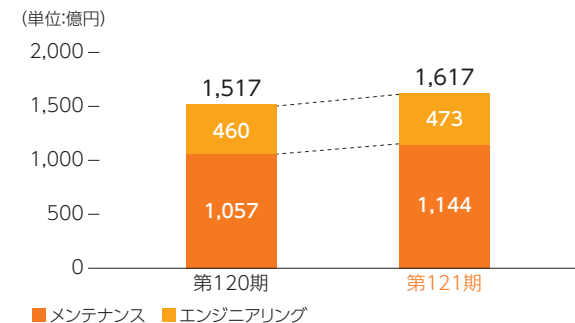
今後の見通し

次期(2026年3月期)につきましては、更なる賃上げやサービス価格の上昇などによるデフレ脱却が進み、景気が持ち直していくことが期待されますが、反面、社会的課題である人手不足や物価高による実質賃金の抑制など景気の下振れ要因もあり、引き続き不透明な状況が継続するものと考えております。

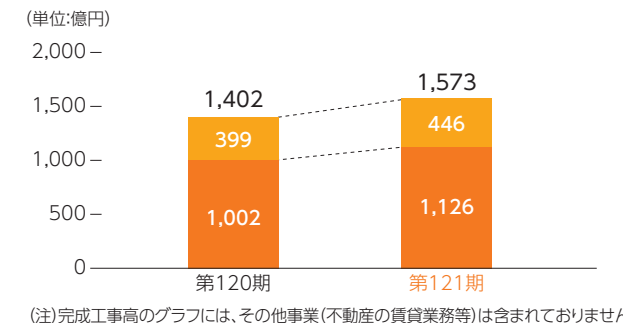
次期の連結業績予想につきましては、受注高1,470億円、完成工事高1,575億円、営業利益116億円、経常利益118億50百万円、親会社株主に帰属する当期純利益81億円を予想しております。

引き続き日常保全工事、定期修理工事、改修工事など従来のメンテナンス工事の受注拡大に加え、閉鎖製油所の将来設備計画や検討段階からの積極的参入、建設工事までの対応や、一般化学、電子材料などの半導体に関わる高機能製品製造プラント、太陽光発電を始めとしたカーボンニュートラル案件など、事業環境の変化に対応した取り

受注高(連結)の工事種類別内訳



完成工事高(連結)の工事種類別内訳



組みによる新規工事の受注確保に努めるとともに、2025年5月14日に開示いたしました「第3次中期経営計画の策定について」の通り、「RAIZNEXT X CHALLENGE」をテーマとし、従来のやり方にとらわれず、あらゆる変革に挑戦する期間と位置付けて、目標の達成を目指してまいります。

利益分配に関する基本方針 および当期・次期の配当

株主の皆様に対する利益配当に関しましては、これを経営の最重要課題と位置付けております。収益に即した継続的かつ安定的な配当を実施することに留意し、60%以上の連結配当性向を目標といたします。また、配当の時期は中間および期末の年2回を基本といたします。

当期の期末配当につきましては、上記に基づき、通期の連結業績を総合的に勘案したうえで、1株当たり56円といたしました。なお、中間にて実施した普通配当35円を加えた年間配当金は91円となります。

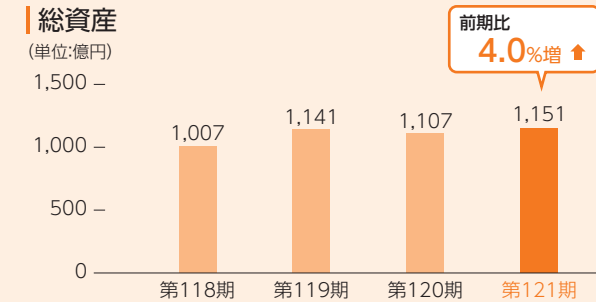
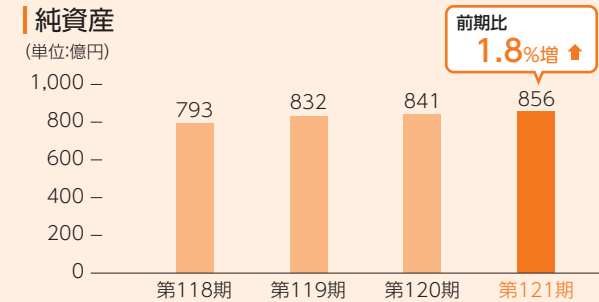
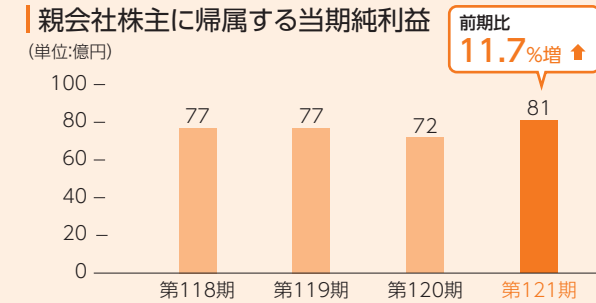
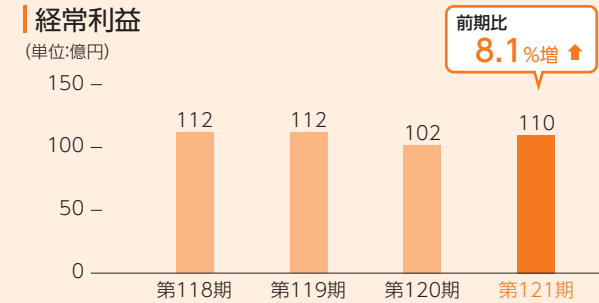
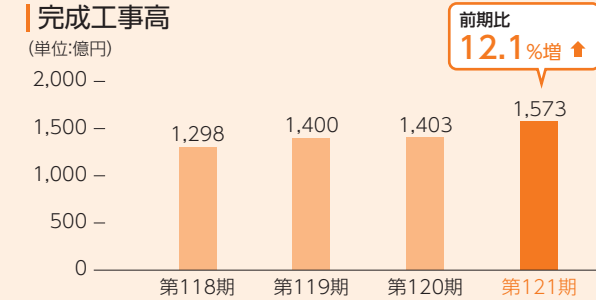
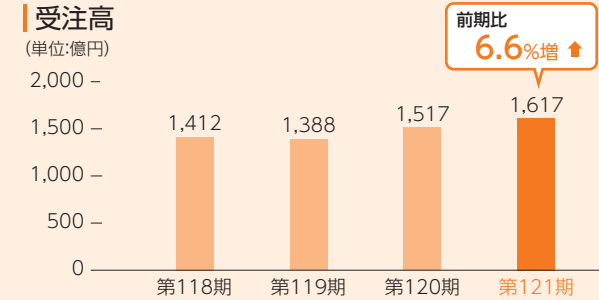
次期の配当につきましては、連結配当性向60%以上を目標とする配当方針に基づき、1株当たり中間配当45円、期末配当46円の年間91円を予想しております。

株主還元

継続性および安定性を充分留意した配当を実施しております。

	1株当たり配当金			連結配当性向
	中間	期末	年間	
第121期	35円	56円	91円	60.3%
第122期(予想)	45円	46円	91円	60.3%

連結決算ハイライト



詳細な財務情報は、当社ウェブサイトの「投資家情報」をご覧ください。

レイズネクスト IR
<https://www.raiznext.co.jp/ir/>

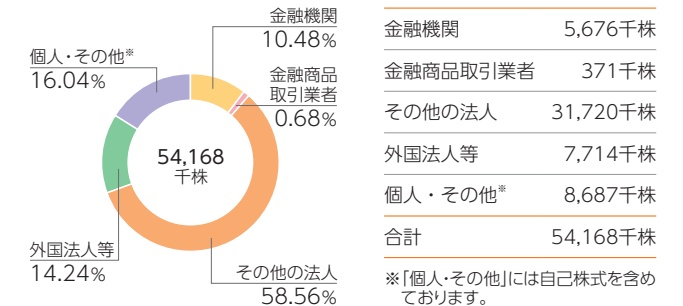
株式の状況 (2025年3月31日現在)

- 発行可能株式総数 160,000,000株
- 発行済株式総数 (自己株式208,723株含む) 54,168,053株
- 株主数 7,291名
- 大株主

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
ENEOSホールディングス株式会社	11,658	21.61
株式会社UH Partners 2	4,904	9.09
光通信株式会社	4,054	7.51
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	3,927	7.28
株式会社NIPPO	3,882	7.20
BBH FOR FIDELITY LOW-PRICED STOCK FUND	2,671	4.95
株式会社UH Partners 3	1,919	3.56
レイズネクスト従業員持株会	1,749	3.24
株式会社エスアイエル	1,354	2.51
レイズネクスト取引先持株会	1,259	2.33

(注) 持株比率は、自己株式を控除して計算しております。

所有者別株式数分布状況



》第2次中期経営計画の総括

第2次中期経営計画の成果

第2次中期経営計画期間(2021年度～2024年度)は、経営統合によるシナジー効果*を創出する期間であるとともに、長期ビジョン達成のための基盤づくりを行う期間と位置付け[RAIZNEXT SYNERGY POWER]をテーマに取り組みを推進してまいりました。その結果、最終年度である2024年度では業績目標をすべて達成することができました。

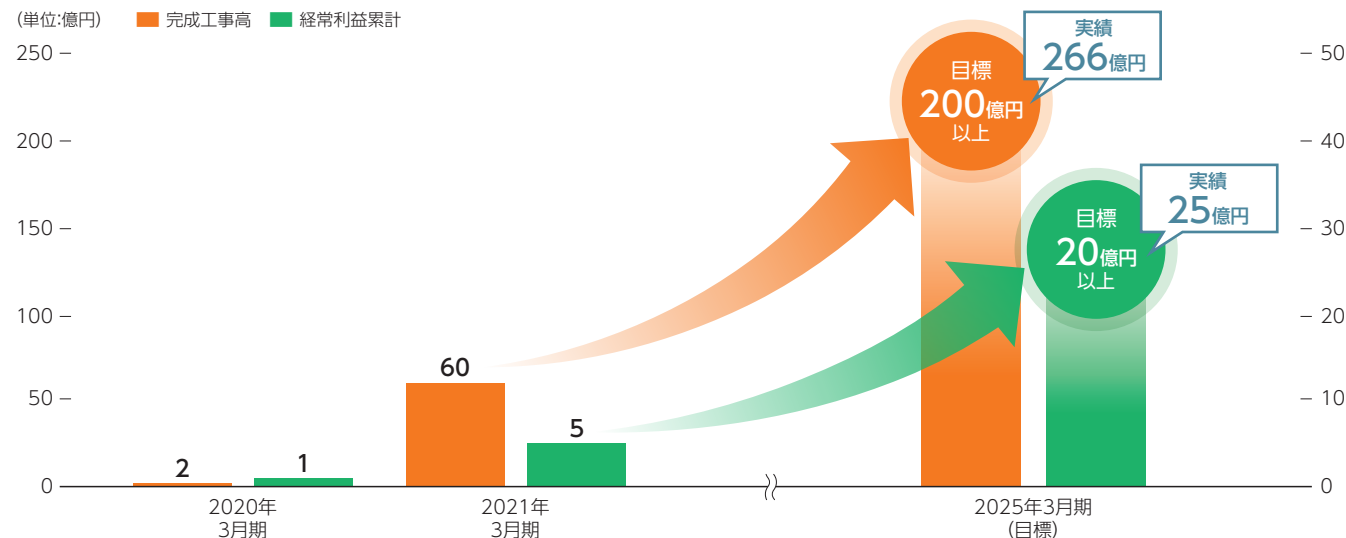
*2019年の経営統合に伴う相乗効果

2024年度連結(2025年3月期)

(単位:億円)	目標	実績	目標	実績
完成工事高	1,450	1,573	ROE	8.0%
営業利益	105	108	配当性向	40%以上
当期純利益	70	81		60.3%

経営統合によるシナジー効果





シナジー効果の数値目標についても、旧両社の強みを融合することで達成することができました。



第2次中期経営計画の振り返り

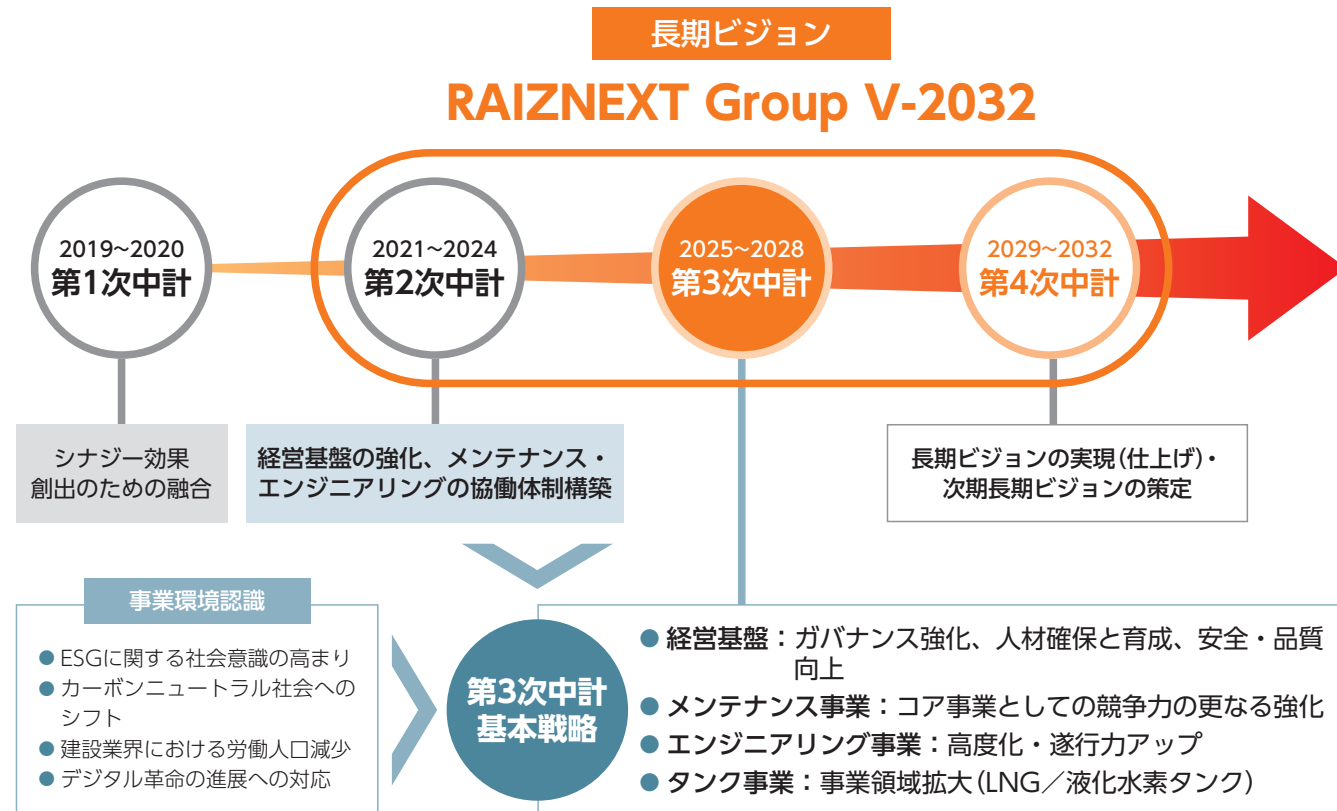
第2次中期経営計画では、「経営基盤の強化」「メンテナンス事業の強化」「エンジニアリング事業の強化」「タンク事業の強化」を基本戦略とし、様々な取り組みを行ってきました。

第3次中期経営計画においても、引き続きこの4つを基本戦略とし、取り組みを推進いたします。

	取り組みの成果	今後の取り組み
 経営基盤の強化	<ul style="list-style-type: none"> コーポレートガバナンス・リスク管理体制の整備、安全・品質管理体制の高度化 サステナビリティ経営の推進体制の整備 働き方改革に向けた制度、インフラ整備 	<p>▶各体制やインフラの適切な運用と強化</p> <p>社会から信頼・評価される会社を目指し、ガバナンス強化、人材確保と育成、安全・品質の向上に努める。</p>
 メンテナンス事業の強化	<ul style="list-style-type: none"> 事業部統合による人員配置の適正化 協力会社を含めた技能者育成や施工体制の強化 安全性向上、効率化に向けた施工作業の自動化、機械化の推進 	<p>▶メンテナンスの高度化</p> <p>コア事業としての競争力を一層強化するべく、労働生産性向上を目指し、リソース管理の高度化、更なる機械化・自動化を加速する。</p>
 エンジニアリング事業の強化	<ul style="list-style-type: none"> カーボンニュートラル(CN)社会に向けた新規分野の受注 設備計画や検討段階からの積極的参入 化学・半導体・非鉄金属分野での受注拡大 	<p>▶エンジニアリングの高度化・遂行力アップ</p> <p>GX推進に伴う設備投資拡大に対応すべく、DX推進によるエンジニアリングの高度化・遂行力強化を目指す。</p>
 タンク事業の強化	<ul style="list-style-type: none"> 全国事業所ネットワークを活かした受注拡大 生産性向上に向けた自動溶接技術の導入 CN案件(低温タンク)分野への進出準備 	<p>▶CN案件受注体制の確立</p> <p>水素社会の到来に備え、低温タンク分野への進出を目指すとともに、検査ロボットの開発など自動化の推進を行う。</p>

第3次中期経営計画の基本戦略

第3次中期経営計画は2021年に策定した長期ビジョンの2期目にあたり、第2次中期経営計画期間で構築した経営基盤を進化させ、長期ビジョン達成に向けた本格的な取り組みを推進していく期間です。ESGに関する社会意識の更なる高まりやカーボンニュートラル社会実現に向け、4つの基本戦略を軸に更なるチャレンジを進めてまいります。



長期ビジョン達成のため第2次中計で構築した基盤・体制をもとに更にチャレンジが必要

第3次中期経営計画のテーマ



第3次中期経営計画では、持続的な成長と企業価値の向上を目指して、カーボンニュートラル社会実現に貢献するための事業変革、デジタルを活用した業務プロセスの変革など、従来のやり方にとらわれず、あらゆる変革(X:トランスフォーメーション)に挑戦していくことをテーマに掲げております。

各事業の“X” トランスフォーメーション

第3次中期経営計画期間中は、長期ビジョンの総仕上げとなる第4次中期経営計画に向け、事業ごとに様々な“X”(変革：トランスフォーメーション)に取り組みます。

メンテナンス事業の“X”

- メンテナンスのDX推進
 - ・施工作業の更なる機械化/自動化による安全性向上、省力化、効率化
 - ・次世代メンテナンス技術の開発/導入
 - ・施工管理業務の高度化

エンジニアリング事業の“X”

- エンジニアリングのDX推進
 - ・3D設計/AI設計推進、BIM/CIM構築
 - ・先進的プロジェクト管理システム導入
 - ・高度な解析ソリューション

タンク事業の“X”

- GXへの挑戦
 - ・低温タンク(LNG/液化水素)分野での受注体制構築
 - ・製作/検査のロボット化
 - ・自動溶接の現場実装

経営基盤の“X”

- DXによる業務プロセス改革
 - ・安全/品質管理の高度化
 - ・業務改革の推進
 - ・データドリブン経営

- 人的資本投資の加速
 - ・人材の育成
 - ・健康経営の促進
 - ・新しい働き方の推進

川崎重工と「LNG及び液化水素タンク事業に関する協業覚書」を締結

川崎重工業株式会社と当社は、2025年4月22日、日本国内におけるLNGおよび液化水素受入貯蔵設備における平底円筒タンクを対象とした、「LNG及び液化水素タンク事業に関する協業覚書」を締結しました。



本覚書締結の様子

- 左から
 川崎重工 尼子 元久 執行役員/水素・CNディビジョン長
 川崎重工 西村 元彦 専務執行役員/エネルギーソリューション&マリンカンパニープレジデント
 レイズネクスト 毛利 照彦 代表取締役社長
 レイズネクスト 上田 秀樹 取締役副社長

国内プラント市場においては、カーボンニュートラル社会の実現に向けた設備投資が増加しています。本覚書により、川崎重工のLNGタンクおよび液化水素タンク的设计・製造技術ならびに施工のノウハウと、レイズネクストの豊富なプラントの新設・改造工事およびメンテナンスの経験ならびに日本各地のコンビナートに有する事業拠点を活用することで、LNGタンクおよび液化水素タンク案件への対応力を高め、着実な受注・施工につなげていきます。

今後両社は、本覚書によりLNGならびに水素事業への取り組みを更に加速し、カーボンニュートラル社会の実現に貢献してまいります。

株主優待制度導入のお知らせ
 「レイズネクスト・プレミアム優待倶楽部」



株主の皆様の日頃からのご支援に感謝するとともに、当社株式への投資魅力を一層高め、中長期的に株式を保有していただけるよう、株主優待制度の導入を決定いたしました。

●当制度の対象となる株主様

2025年9月末日以降、毎年3月末日および9月末日現在の当社株主名簿に記載または記録された400株以上保有の株主様が対象となります。

●当制度の内容

対象となる株主様の保有株式数に応じてポイントを進呈いたします。そのポイントを株主様限定の特設ウェブサイト「レイズネクスト・プレミアム優待倶楽部」において、お米やブランド牛などのこだわりグルメ、スイーツや飲料類、銘酒、家電製品、選べる体験ギフトなど、5,000種類以上の商品からお好みの商品をお選びいただけます。

対象となる株主様には、特設ウェブサイトへの登録方法などを記載した「レイズネクスト・プレミアム優待倶楽部のご案内」を2025年11月中旬(予定)にお送りいたします。

プレミアム優待倶楽部を導入している他企業の優待ポイントと合算可能な共有株主優待コイン[WILLsCoin]にも交換できます。



お電話でのお申し込みも可能です。(ご選択いただける商品に限りがありますのでご了承ください)

【株主優待ポイント表】(1ポイント≒1円)

保有株式数	優待ポイント数 (3月末)	優待ポイント数 (9月末)	進呈時期
400株~499株	1,500ポイント	1,500ポイント	5月中旬頃 11月中旬頃
500株~599株	2,500ポイント	2,500ポイント	
600株~699株	3,500ポイント	3,500ポイント	
700株~999株	7,500ポイント	7,500ポイント	
1,000株~1,499株	10,000ポイント	10,000ポイント	
1,500株~4,999株	20,000ポイント	20,000ポイント	
5,000株~9,999株	22,500ポイント	22,500ポイント	
10,000株以上	25,000ポイント	25,000ポイント	

株主メモ

決算期	3月31日
定時株主総会	6月中
基準日	定時株主総会については、3月31日といたします。 その他必要があるときは、あらかじめ公告して定めます。
配当金受領 株主確定日	3月31日および中間配当を実施するときは9月30日
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
同お問合せ先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 電話 0120-232-711 (通話料無料) 郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
公告の方法	電子公告といたします。但し、電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載する方法といたします。

会社概要 (2025年3月31日現在)

商号	レイズネクスト株式会社 RAIZNEXT Corporation
本社所在地	〒231-0062 横浜市中区桜木町一丁目1番地8 045-415-1111
設立	1938年(昭和13年)7月20日
資本金	2,754,473,003円
上場取引所	東京証券取引所 プライム市場
従業員数	連結 2,155名 単体 1,691名

役員 (2025年6月25日現在)

代表取締役社長 社長執行役員	毛利 照彦
代表取締役副社長 副社長執行役員	上田 秀樹
取締役副社長 副社長執行役員	木村 裕之
取締役副社長 副社長執行役員	中宅間 大作
取締役 専務執行役員	佐久間 裕
取締役 常務執行役員	川村 雅彦
社外取締役	伊佐 範明
社外取締役(監査等委員)	佐分 紀夫
社外取締役(監査等委員)	水地 啓子
社外取締役(監査等委員)	西田 まゆみ

Webサイトのご案内

当社ウェブサイトでは、企業情報、事業・サービス、投資家情報など、様々な情報を掲載しております。ぜひご覧ください。

レイズネクスト



<https://www.raiznext.co.jp>

